



早島小だより

12月号
令和2年12月2日

めざす子どもの姿 「は」判断する子 「や」やり抜く子 「し」正直な子 「ま」学び合う子

☆かがやき☆フェスティバル！

先週の「かがやきフェスティバル」には、いろいろな制約のある中、多くの保護者の皆様にお越しいただき、誠にありがとうございました。本年度は、新型コロナウイルス感染防止のため、全学年体育館での音楽発表という形での実施となりましたが、子どもたちの頑張りや成長した姿を見ていただけるよい機会となったのではないかと思います。マスクを着用しての合唱や合奏でしたが、子どもたちのもっている力を精一杯発揮し、各学年見応えのある発表を披露してくれました。学年で決めた目標に向かって、一人ひとり一生懸命発表している姿は、素敵でした。また、感動しました。この発表会が、子どもたちのよき思い出の一つとなり、これからの成長に生かされることを願っています。実施できて本当に良かったです。保護者の皆様、いろいろとご協力ありがとうございました。

1年「えがお100パーセント」



2年「レインボー」



3年「新しい風が吹いてくるよ！」



4年「とどけよう感謝の花」



5年「繫」



6年「輝くために」



マスクの着用、手洗いの励行！

本校では、新型コロナウイルスの感染を防ぐために、次の2つのことを指導しています。①飛沫感染を防ぐために、「授業中はマスクをつける。」②接触感染を防ぐために、「手洗いをこまめにする。」です。この2つは、これからも徹底して指導してまいります。

保護者の皆様へのお願い

- ①登校時には、お子様にマスクを持たせてください。
- ②手洗いをしっかりするようご指導ください。（帰宅後、食事の前、トイレに行った後など）

子どもをほめて伸ばす（育てる）！

子どもをほめることは、親の大切な愛情表現の一つです。親の言葉に励まされて、自分は認められて愛されているのだと感じます。親のほめ言葉は、子どもの心の栄養となります。子どもの健やかな成長には欠かすことができません。

子どもが成し遂げた（できた）ことだけではなく、その子の意欲もほめてほしいと思います。子どもをほめすぎるということはありません。子どもが大人になり様々な壁にぶつかった時、子どもの頃に親にほめられたことが、心の強い支えになると思います。

今、子どもたちが求めているのは、優しさや愛情あふれる励ましの言葉ではないでしょうか。「お母さんはあなたを信じているよ。」「いいところに気付いたね。」など、愛情あふれるその一言が、子どもたちの心をふるわせ、胸を熱くさせ、やる気を起こさせるのだと思います。子どもたちを励まし、ほめることは、子どもの人格をまるごと認めることでもあります。愛されて育った子どもは、自分を好きになり、友だちをも受け入れることができるでしょう。